

平成19年度 事業活動報告

1. 19年度事業の概要

19年度、当NPO法人は、東海村支部を中心に「安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業」を実施するとともに、「リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業」として広報誌の発行を行った。また、「科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業」として、東海村中央公民館講座に市民講座企画を提案し、19年10月より放射性廃棄物処分問題を扱う市民講座を計4回実施した。「行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業」では、農林水産省や原子力安全・保安院のリスクコミュニケーション研修や、電気新聞セミナーでの講演を行うとともに、東海村が主催した原子力安全シンポジウム2007の企画立案と実施支援を行った。この他、会員への情報提供として、事務局通信を作成し、送信した。

2. 事業の詳細

(1) 行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業

- 農林水産省農林水産研修所が主催する平成19年度農政課題地方公共団体職員研修（平成19年7月19日実施）、平成19年度機能強化研修（食の安全と消費者の信頼確保研修）（平成19年11月19日実施）において、副代表理事土屋智子が講師としてリスクコミュニケーションの抗議と演習を行った。
- 電気新聞セミナー「企業の危機管理の要諦」において、主催元の依頼により、副代表理事土屋智子が「原子力におけるリスクコミュニケーション」と題して東海村の活動を紹介した。（平成19年11月22日実施）
- 東海村が主催する原子力安全シンポジウム2007「“住民の安心”につながる原子力安全の取り組みを考える」の企画立案、準備、当日の運営、事後報告作成を担った。（平成19年10月17日実施）
- 経済産業省原子力安全・保安院の依頼により、副代表理事土屋智子が、平成19年度原子力リスクコミュニケーション研修講師として、2日間の研修を実施した。（平成19年11月20, 21日）

(2) 科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業

平成19年度下期の中央公民館講座に企画提案を行い、高レベル放射性廃棄物処分について全4回の講座を実施した。

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 第1回講座：処分技術とその安全性 その1（河田東海夫） | 平成19年10月20日実施 |
| 第2回講座：処分技術とその安全性 その2（河田東海夫） | 平成19年11月17日実施 |
| 第3回講座：処分問題 ～世界と日本の事情～（長崎晋也） | 平成19年12月8日実施 |
| 第4回講座：処分問題 ～未来への責任とは～（長崎晋也） | 平成20年1月12日実施 |

(3) 安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業

① 日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所における安全対策の視察

那珂核融合研究所の事業内容（核融合研究）を学ぶとともに施設における安全対策を視察するため、核融合実験施設および関連設備の視察を平成 19 年 7 月 4 日と 8 月 1 日に実施した。視察の結果を踏まえたレポートは 11 月 16 日に事業所へ提出し、1 月 8 日に NPO 法人の見解に対する返答を得た。その後、視察結果を「しーきゅうぶ東海村」第 6 号で広く住民へ情報提供した。

②原子燃料工業株式会社のウラン燃料の不適切な取扱い問題に関する説明会の実施

平成 17 年に視察を行った原子燃料工業株式会社東海事業所において、2 月にウラン燃料の不適切な取扱いを行っていたことが 4 月初めに発表されたことを受けて、6 月 6 日に説明会を設け、原因と対策について説明を受けた。残念ながら、再発防止策について東海村支部の理解が得られなかったことから、10 月 3 日に現場見学と再説明会を実施した。さらに、1 月 15 日にも説明会を実施し、再発防止策について東海村支部の理解が得られたことから、経緯をまとめ、「しーきゅうぶ東海村」特別号 2 において、広く住民へ情報提供を行った。

③日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所の視察の実施

平成 15 年に最初の視察を行った核燃料サイクル工学研究所に 2 回目の視察を申し入れ、1 月 16 日に実行委員会を実施し、高レベル放射性物質研究施設を対象に、安全対策について議論することとした。3 月 10 日の事前説明会を経て、4 月 16 日に視察を実施した。

(4)リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業

①広報誌の発行

<広報誌発行状況>

しーきゅうぶ東海村 特別号 1 平成 19 年 8 月発行 日本原電データ改ざん等の再発防止

しーきゅうぶ東海村 特別号 2 平成 20 年 2 月発行 原燃工ウラン燃料の不適切な取扱い問題

しーきゅうぶ東海村 第 6 号 平成 20 年 2 月発行 那珂核融合研究所 視察報告

②原子力ティータイムの実施

平成 19 年 11 月 7 日に、東海村の施策に意見を述べる女性グループ「ハーモニー東海」8 期生の皆さんに来ていただき、「原子力ティータイム」を行った。原子燃料工業のウランの不適切な取扱い問題に関して意見交換の状況を紹介し、視察や広報活動に関する助言を得た。

③その他

例年どおり、平成 19 年 8 月 4 日の東海まつりに出店し、広く活動を紹介した。アンケートに 50 名もの回答を得て、東海村支部の活動に対する期待が大きいことがわかった。

3. 組織強化のための取り組み

NPO 法人としての組織強化のため、会員への情報提供として事務局通信を出すとともに、懇親会の開催など積極的に会員相互の交流を図った。

<「HSE リスク C 3 事務局通信」の発信状況>

19年

6月25日 第16号 総会報告など

9月27日 第17号 東海村シンポジウム, 公民館講座のお知らせなど

12月27日 第18号 理事会報告, 東海村支部活動報告

20年

5月23日 第19号 総会開催連絡など

<理事会>

第4回 19年12月13日 東海村合同庁舎 会議室

東海村より平成20年度において原子力に関する広報活動の支援要請を受けたため, 理事会を開催し, 11月末までの活動報告とともに, 今後の活動計画について議論した。公民館講座や事業所とのコミュニケーション活動を支援していくことになった。

理事会終了後、場所を移して懇親会を行った。

<ホームページの刷新>

ホームページを刷新した。(http://www7a.biglobe.ne.jp/~risk-c3/)

NPO法人HSEリスク・シーキューブ 平成19年度 活動記録

19年度	行政・企業・市民間の リスクコミュニケーション活動の支援事業	安全及び環境の保全に 係わる施設・活動の視 察および改善提言の事 業	科学技術リスクに係わ るリテラシー養成事業	リスクコミュニケーション活動に係わる広報 啓発事業
6月		6日 原子燃料工業説 明会		
7月	19日 農林水産研修所 研修実施	4日 那珂核融合研視察		
8月		1日 那珂核融合研視察		4日 東海まつり参加 10日 特別号1発行
9月				
10月	17日 東海村原子力安 全シンポジウム実 施	3日 原子燃料工業見 学・説明会	20日 第1回公民館講 座	
11月	19日 農林水産研修所 研修実施 20～21日 原子力安 全・保安院研修実 施 22日 電気新聞セミナ ー講演	16日 那珂核融合研へ 視察レポート提出	17日 第2回公民館講 座	7日 原子力ティータイ ムを実施
12月			8日 第3回公民館講座	
1月		8日 那珂核融合研よ り回答と追加説明 15日 原子燃料工業説 明会 16日 サイクル研視察 実行委員会	12日 第4回公民館講 座	
2月				29日 第6号, 特別号2 発行
3月		10日 サイクル研視察 事前説明会		
4月		16日 サイクル研視察		
5月				

<その他 運営上の活動>

平成19年6月16日に 第2回通常総会を実施

12月13日に第4回理事会を実施